

烏川下流部

上西

一九八一年八月二十九日

烏川林道ゲートに車を置き、林道を歩く。林道は枯松沢出合までのびている。

一〇時一五分入谷。滑谷沢出合までは小さなナメとトロがあるだけで、全く平凡。茂庭の沢は当たりはずれが大きいから、この沢は駄目なのかも知れない。

滑谷沢出合一二時一五分。変わりばえのしない沢筋が続く。小休止後、気を取り直して出発。

一二時四五分、クモ沢に入る穴戸君たちのパーティと別れる。とたんに一畝ほどの小滝が出てきた。沢の様相が変わる前触れだろうかと期待

したが、またもとの平凡な沢筋に戻ってしまった。

旧一三号国道の橋まで平凡。五畝ほどの滝が一つだけあって、右岸を直登できるだけがとりえの沢だった。烏川はイワナ釣で有名だが、その割にイワナの姿を見ることはなかつ

た。釣人の数が多すぎて、林道から簡単に入谷でき、悪場もないこのよ
うな沢にすむイワナは、とりつくさ
れてしまう運命にあるのだろうか。

(記)

〔タイム〕 烏川林道ゲート(八:一〇)

(↓枯松沢出合(一〇:二〇)↓滑

谷沢出合(一二:一五)↓橋(一四

三:三五)

